

保護者説明会記録（御幸）

日時：2025年9月4日（木）19時～20時

場所：うきは市立図書館3階小ホール

参加者：15名

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山C（山本、山下）

・5年後に開校できるスケジュールとあったが、それに向けて委員会等での検討についてどのようなプロセスなのか。

→今後も保護者や地域の皆さんとの意見を伺う会は設ける予定。併せて、設計・建設を並行して進め、それには概ね3年くらいはかかる予定。

・現中学校を建て替える場合、現在の中学生はどこで学習するのか？

→できるだけ子どもたちの学習環境に影響が少ないようしたい。

そのため、現在の中学校校庭に新設校を建てて、建設後に円滑に新設校に移れる案を想定している。但し、野球部等グラウンドを潤沢にとることを優先してほしいという意見もあるため、皆さんからどのような方向性が良いかご意見を頂きたい。

・あり方検討委員会で、第1案となっておりそれで進んでいくものと思われるが、現在の小中学校はどのように活用するのか？

→検討委員会でもそのような話が出ているが、まだ具体的な話にはなっていない。今後、担当部署と市全体でみなさんと話し合いながら検討していきたい。

・先生方の定数が減るのではないのか？

→学級数に応じて教員数は決まっているので、大幅に減ることはない。但し、小学校は3校がまとまれば、学級数が減る。教員数は再編時には国の措置で教員の加配を申請できるのでそれを活用するよう考えている。

・学童の施設はどうなるのか？学童を今ある場所で対応するというのは難しいと思われる。

→ご意見として伺わせて頂く。今後、担当部署がみなさんと話し合いながら市として検討していきたい。

・保護者にお知らせを周知するのも大事かと考えます。

→今後は、学校の方から再度告知させて頂いて、周知を徹底させたい。

・この時間には集まりにくいというのがあるかと思われる。保護者のご意見をしっかり収集した方が良い。学校の懇談会などでも説明してはどうか。

→ご意見として伺わせて頂く。

・義務教育学校と小中一貫校のちがいは？

→小中一貫校は建物が統合するだけで、小中学校は別のまま、2つの学校が連携する形式。義務教育学校はそれをもっと発展させた9年制で考え、法律上も1つの学校として統合し、9年間一体で運営する形式。

義務教育学校は、学校運営が一つにまとまるので、先生たちの連携がスムーズになる、行事やカリキュラムを自由に組めるので、地域や子どもに合った教育ができる、9年間で一体的に学べるので、子どもが安心して成長できるといったメリットがある。一方で、教員にとっては小中学生両方の授業を担当するなど負担がかかる点もある。

・吉井の小中学校はどのくらいの規模なのか？長期的にみたらまた再編になっていくのか？

→今のところ吉井町域は、浮羽町域ほどの人口減少はみられていない。

・東峰学園は小中一貫校か？

義務教育学校の場合、行事はどうなるのか？

転入・転出の際にギャップがでないか？

→東峰学園は小中一貫校。義務教育学校は制度ができて間もないため、全国でも200程度しかない。

→義務教育学校の場合、行事は各校でどうするか決める事になる。前期6年が過ぎても卒業式はないが、進級式などを設けている例もある。

→転入・転出の際のギャップについては、十分配慮していくことになる。

・再配置4案について、距離だけで決めたのか？

→「中間まとめ」にあるとおり、これまでに整理した前提となる諸条件、パターンごとの比較検証結果等を踏まえて総合的に比較検討の上、全体の方向性として案1としている。

→この案は、浮羽町域に小中学校を残すという案で提案している。

・スケジュール感について、ここで決まったことを踏まえて、次年度以降はどのように進めていくのか？

→ここでの意見も含め、あり方検討委員会での意見を教育委員会に述べ、教育委員会での協議、市全体の協議、議会での決定となり、来年度以降の設計や建設へ向けて進めていく。少なくとも5年程度は必要になると考える。

・我々保護者が検討に参加される機会はどのくらいあるのか？

→来週から保護者を対象としたアンケートを実施、10月8日には市民ワークショップを開催予定としている。その他、必要に応じて説明の場を設けることを検討していきたい。

・我々はどういう風に意見を出していけばよいのか。

→その辺に関しても検討させて頂く。

以上